

構想名:「SDGs未来都市長野」から世界へ繋げる信州版ALネットワーク



「いのち」を視点に、統合的・全体的アプローチからSDGsを探究するALネットワークを構築することで、地方公立高校の生徒たちに単独校では得られない教育の機会を提供し、時間や場所等の条件を超えて、自らのアクションにより新しい価値や社会を主体的に創造できるグローバル・リーダーの育成を目指す。

探究的な学び・STEAM カリキュラム開発

グローバルスタディーズ

・教科等横断的な視点からの社会課題への統合的アプローチによる地球市民としての感性・価値観醸成



グローバルスタディⅠ

・グローバル課題へのテーマ設定及び課題解決能力育成

グローバルスタディⅡ

・自己課題の研究推進による国際的な対話力及び世界への発信力涵養

グローバルスタディⅢ

・キャリアに応じた課題研究の深化及び学びの集大成として政策提言

デザインシンキング
課題研究テーマの見つけ方

KDDI
協働開発

高大連携・AP構築

信州大学

- ・科目等履修生を受入れ (R4.9月~3月)
- ・大学の単位認定可
- ・15名受講(R4)
- ・R5は8科目で新たに募集

長野県立大学

- ・夏期集中講座「コミュニティデザイン各論I」で聴講生受入れ (R4~)
- ・拠点校から3名受講(R4)
- ・拠点校の単位として認定

企業等との連携

県内連携校

15校

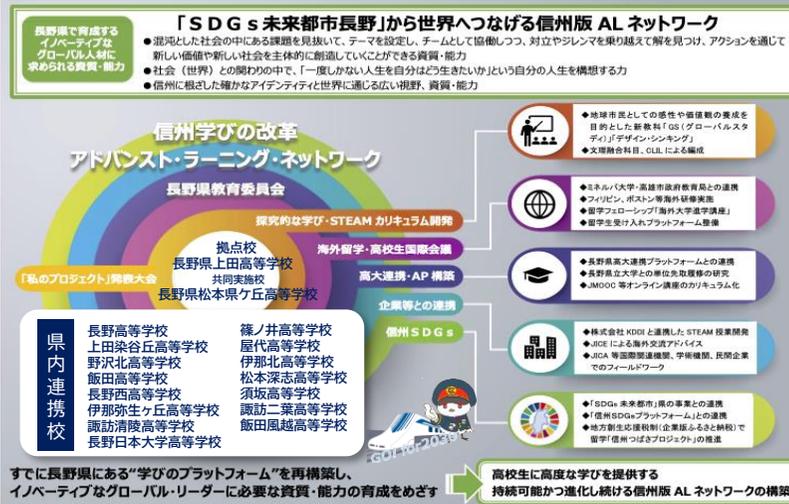
- ・初年度9校から大幅増加
- ・海外連携校との継続的オンライン交流・研修

県独自事業

「未来の学校」構築事業

先進的・先端的な研究開発実践校を指定。
※6校中連携校4校
スーパー探究校 信州グローバルハイスクール
国際プログラム研究校 骨太リーダー育成
マイプロ長野県Summit

創りたい未来へのアクションを起こす学びのプロセス
KDDI共創プロジェクト 産官学連携
KDDIとの共創による生徒主体の特色ある取組実現



海外留学・高校生国際会議

信州つばさプロジェクト (県独自の留学支援 R4から再開)

個人留学支援

- ・個人の留学費用を支援 (R4渡航先:イギリス、ケニア、インドネシア等)

短期海外留学研修

- ・オランダ & スイス、カンボジア、マレーシア (県企画コース)
- ・カンボジア神戸プロジェクト (拠点校)
- ・個別海外研修 (共同実施校)

信州WWL高校生国際会議-2022.6.11開催-

参加者数

187名

県内 100名
県外 32名
海外 55名



海外:台湾・アメリカ・カナダ・ニュージーランド・インド・タイ

当日の内容

- 基調講演
- 分科会 (発表・討論)
- 共同宣言採択

生徒実行委員会

ALネットワーク連携校から募集
生徒主体の運営

*エシカル消費、人権、教育、環境、貧困、水衛生の5分科会

53名 8校
実行委員の数 参加校数

信州SDGs

「SDGs未来都市」長野県の事業、「信州SDGsプラットフォーム」との連携

SDGs学びサポーター

県内55社が登録。
高校生の探究的な学びをサポート。

海外SDGs探究

多様な価値観、社会課題のリアルを学ぶ。
(例)環境先進国(オランダ、スイス)研修 (R4信州つばさプロジェクト)

未来へつなぐSDGs高校生ワークショップ

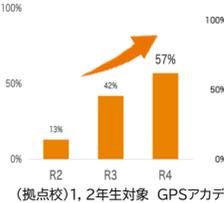
G7外相会合の本県開催を契機に高校生と外務省等とSDGsをテーマにした交流。

データで見る3年間-生徒の変容

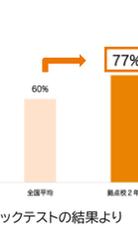
拠点校開催研究発表会への参加者数



発想の自由な生徒増加 (拠点校)



発信力の向上



自ら「問いを立てる力」の向上



3年間の成果

- 各校独自開発プログラムの共同実施による県内高校生への協働的・高度な学びの機会提供
- 県独自学びのプラットフォームを活用した探究の深化と自らアクションを起こす生徒増加
- オンラインを活用した国際交流や学校を超えて学び合う機会創出

来年度以降の課題

- 開発したカリキュラムの深化、オンラインの活用による全県的普及
- ALネットワークを超えた交流促進、学び合う機会の充実
- 留学生受入れ・海外研修本格再開。県独自事業による海外留学希望生徒への支援促進